



令和6年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

# 見沼のほとり

第 2 号

令和6年4月30日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

## 得意なことや好きなことをもつ

校長 金子 慎一郎

今、大リーグで活躍している大谷選手の姿を見ていると自信をもって堂々としています。どんなピッチャーの球でもヒットやホームランにしてみせますといった誇りが感じられます。人間が生きていくのに、誇りをもって生きるということはとても大切なことです。自分に誇りをもつということは、言い換えると、自分に得意なことや好きなことがあり、自信をもっていることです。

私は技術科の教員ですので授業で行う「ものづくり」には自信があります。いつ頃から「ものづくり」が得意になったかと言うと、中学生の頃、技術の先生に褒められてそこから「ものづくり」が好きになりました。就職先を探す際にも自分の好きなことができる職業はないかと探していたところ、原点となっていた中学校の先生になろうと決心して勉強をしました。

教員になってからすぐにコンピュータが企業から家庭に届きはじめ、Windows95 というOSのおかげで一気にパーソナルコンピュータ（パソコン）が使われるようになりました。中学校の授業でもコンピュータでプログラムを作り、計算をさせて図形を描いたり、ワープロとして文章を作成したりしましたが、私は「ものづくり」がすきで、「ものづくり」の楽しさを教えていました。そして生徒が「できた（完成した）」、「光った」、「咲いた」などの笑顔が見たくて頑張ってきました。

今思えば、自分が好きなことを教えてそのことを仕事にしていたこととなります。生徒の皆さんは自分の好きなことを楽しくできそうだと思うたら、粘り強くやってみてください。それを少しずつでも長く続けることによって上達していきます。自分の中で、これが一番好きだと思えるものについて努力を重ねることによって得意なものとなり自信が生まれてくるものです。ぜひこの1年間で自信が持てるものを見つけて努力を続けてみてください。

5月1日は **さいたま市民の日**



さて、話は変わりますが、5月1日はさいたま市民の日です。さいたま市は、2001（平成13）年に、浦和市、大宮市、与野市がいっしょになって誕生しました。2003（平成15）年に、全国で13番目の政令指定都市となり、2005（平成17）年には岩槻市がさいたま市に加わり、全10区となりました。令和3年3月に市民が、郷土である本市の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくことを期する日として「さいたま市民の日」が設けられました。さいたま市のサイトでは「さいたま市民の日」について紹介しています。サイトへは上の二次元バーコードから入ることができます。土呂中学校の近くの「市民の森」でも5月3日4日に「花と緑の祭典2024」も開催されます。野菜・植木・花き・洋ランなどの販売等が行われますので地域のイベントとして出かけてみてはいかがでしょうか。